

外観



東京・町田の緑豊かな丘陵地に広がるキャンパス。「薬を通して人類に貢献」を理念として掲げ、薬学の幅広い分野において薬の専門家として活躍できる薬剤師を育てている。

体育館棟 男性トイレ 小便器コーナー



白を基調に、紺色をアクセントカラーとしたスタイリッシュな内装。床の清掃性や節水性に優れた壁掛自動洗浄小便器を採用し、足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置している。

本館棟1F 北側 男性トイレ



大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ウォシュレットのリモコンは、乾電池の交換が不要な発電タイプ。小便器は清掃性に優れた壁掛自動洗浄小便器を採用している。

本館棟1F 北側 女性トイレ



洗面コーナーとスタイリングコーナーには、メイクしやすいLED照明付鏡を設置。高速両面タイプのクリーンドライも完備している。

体育館棟 男性トイレ 洗面コーナー



水じまいのよい壁付自動水栓をセットした壁掛ハイバック洗面器を採用。1ヶ所の洗面器にユニバーサルデザイン対応の手すりを設置している。

体育館棟 女性トイレ 大便器ブース



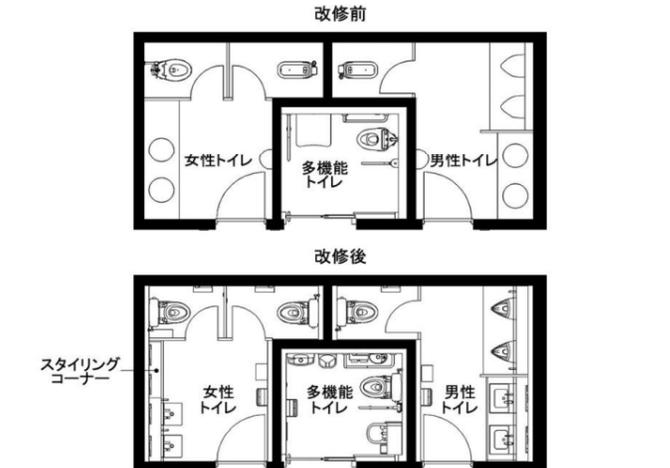
女性トイレには、防犯対策として呼び出しボタンを設置。ウォシュレットの温度設定やノズル洗浄のON/OFFをひとつのリモコンで、複数の機種に連続設定・操作できる、管理清掃用リモコンを導入している。

本館棟1F 北側 多機能トイレ



本館棟は、学生だけでなく来客も使用することから、多機能トイレには、ベビーチェアやコンパクトオストメイトバックを完備している。

本館棟1F 北側 トイレ図面



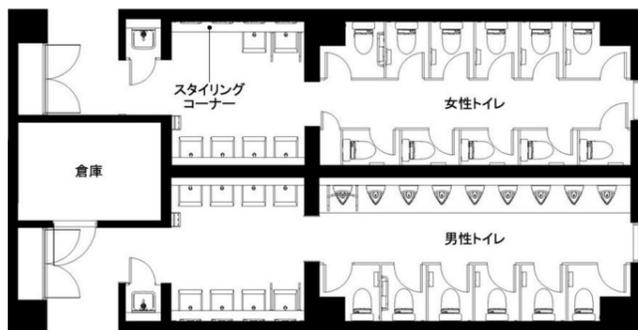
改修前にあった和式便器は、すべて洋式便器に変更し、ウォシュレットを完備。女性トイレには、スタイリングコーナーを新設している。

体育館棟 女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー



ピンク色をアクセントとした柔らかなイメージの空間。身だしなみ配慮として、スタイリングコーナーを新設している。

体育館棟 トイレ図面



男女ともすべて洋式便器とし、女子学生が多いことから、女性トイレにはスタイリングコーナーを新設している。

建築概要

名称 昭和薬科大学 体育館棟・本館棟
 所在地 東京都町田市東玉川学園3-3165
 施主 学校法人 昭和薬科大学
 設計・施工 体育館棟：大成有楽不動産株式会社
 本館棟：飛鳥建設株式会社
 竣工年月 (改修)2018年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>
 「昭和薬科大学」は、昭和5(1930)年に開学した「昭和女子薬学専門学校」を起源とする単科薬科大学。キャンパスは、平成2(1990)年に世田谷キャンパスから町田キャンパスに移転。緑豊かな環境の中で、1~6年生が学んでいる。2020年には創立90周年を迎えることから、校内のトイレ老朽化に伴う改修工事を順次実施。本年は、体育館棟と本館棟の一部のトイレを改修。大学の最新トレンドをおさえた理想的なトイレが実現した。

<トイレの特長>
 体育館棟トイレの内装は白を基調にアクセントカラーを男女で色分けし、明るく清潔感のある空間を演出。本館棟1Fトイレは、来客を意識して木目調を基調とした落ち着いたイメージとしている。今回の改修にあたっては、TOTOテクニカルセンターにて、多機能トイレのスペース検証を実施。時流を意識して、改修前にあった和式便器をすべて洋式便器に変更した。大便器は休憩時間の混雑を考慮して、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用した。ウォシュレットのリモコンは、電池交換が不要な発電式のエコリモコンを選定した。また、女子学生比率が高いことから、体育館棟と本館棟の女性トイレにはスタイリングコーナーを設けるなど、学生を重視した快適なトイレに生まれ変わった。